

## 立志式を迎えた皆さんへ

最上級生になる日を目前に控えた皆さんにじっくり考えてほしいことがあります。

それは、「相手にとつて、本当に良いこと」とはどのようなことだろうか。ということです。今、世の中の大人の行動を見たときに、大変忙しく生活する中で、「相手のことを気遣っているつもりでも、本当は相手のためになつていないことをしてしまっている。」大人が、大変多いように思えるのです。

最近、私も「本当に相手のことを考えて行動できているか」と時々振り返るように心がけています。例えば、プリントを作つて配るとき、このプリントの内容を逆に自分が受け取つたら「わかりやすいだろうか」「どう感じるだろうか」「相手の立場に立ったらどうか」と想像することです。忙しくても忘れないうちに「振り返る・相手の立場で想像する」ことは、大変大事だと考えています。

皆さんの身近にあるわかりやすい話をしましょう。AさんがBさんの悪口を言っていました。その悪口を聞いたあなたは、Bさんにどうするべきでしょうか？ Bさんに「Aさんがこんなことを言っていたよ！」と教えてあげますか。教えられたBさんはどう思うでしょうか。教えることが一番良いことでしょうか。

ここで大切なのは「Bさんの立場が自分だったら・私なら、どうしてもらおうだろうか」ということ、立ち止まつて想像する余裕だと思えます。自分のこととして考えると、どうするべきか答えは出てくるのではないでしょうか。

これから、社会に出て行くまでに、「相手にとつて、本当に良いこと」は何か。正しく考えられる大人になつてほしいと心から願っています。

令和三年一月二十八日